

[004] ICER Newsletter

<https://doi.org/10.15017/1806680>

出版情報 : ICER Newsletter. 4, pp.1-, 2013-08. 九州大学附属図書館付設教材開発センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学附属図書館付設教材開発センターだより

ICER Newsletter

世界に広がるオープンエデュケーション OCWとオープンエデュケーションに関する講演会を開催

教材開発センターでは、マサチューセッツ工科大学(MIT)の宮川教授をお招きし、OCW (Open Course Ware)活動と、最近話題になっているオープンエデュケーション等に関する講演をして頂きました。

講演の前半はOCWについての紹介で、2001年に始まったMITのOCW活動を、その後の世界中の動向を含めて、分かり易く紹介して頂きました。後半はオープンエデュケーション活動の紹介で、例えば、スタンフォードの人工知能(AI)のオープン授業は、16万人の学習者が登録し、インタラクティブな機能を使い、宿題などを自動的に採点していること、物理の授業を通じて従来は見つからなかった優秀な若者がモンゴルで見つかり、16歳でMITに入



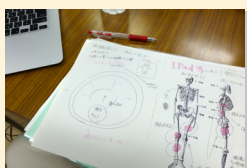
学する話などです。これらのオープンエデュケーション活動は、世界中の高等教育に大きな影響を与える可能性を秘めていると感じました。

参加者は全体で62名(箱崎が44名、大橋が15名、伊都が3名)の参加がありました。今回は学外からの参加者(20名)が多かったこと、講演を中継したにも関わらず、学内の教員の参加が全体で16名、特に伊都から1名と少なかったことが特徴と言えます。

【藤村 直美教授(教材開発センター長)】

pickup!

P&P 新メンバーで医学教材開発中です ～九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト～



H25年度のP&P医学教材開発のチームとして新たなメンバーが揃いました。杉村 涼(システム情報科学府修士1年)、玉利 宏樹(理学部4年)、河津 宗太郎(医学部医学科4年)、小熊 俊輝(医学部医学科2年)、渡邊 航大(医学部医学科2年)、西村 洋平(医学部生命科学科2年)。

毎回のミーティングでは、医学部の学生からは医学教材のニーズについて、システム情報科学府と理学部の学生からはプログラミングの技術的な面について、たくさんの意見が挙がり、「医学を学習する意欲を高めるような教材」を目指して、何度もディスカッションを重ねています。医学と情報学のコラボレーション開発に、今後ご期待ください。

詳しくはこちら ▶ <http://icer.kyushu-u.ac.jp/pandp>

【河野 由起子(テクニカルスタッフ)】



コミュニケーションツールで授業を活性化しよう

Web学習システム (Blackboard Learn R9.1) を使おうとは思いますが、教材を作成するのが面倒だという意見を耳にすることがあります。大学の授業の過程で利用するわけですから、完全な自学自習のための教材を提供する必要はありません。授業で使用する資料や関連するWebサイトのリンクを設定するだけでも受講者にとっては有用です。Web学習システムには他にも多くのツールが提供されています。特にコミュニケーションツールは事前の準備が不要であるにもかかわらず、授業を活性化することが可能となります。ここでは、掲示板ツールを簡単に紹介します。

掲示板は、フォーラム、スレッド、投稿の三段階の階層からなります。フォーラムでは、議論する話題をテーマごとに設定します。図には三つのフォーラムがあります。なお、フォーラムを作成できるのは教員等の権限をもつ利用者となります。スレッドは、コースに登録されている利用者が自由に作成することができ、最初の投稿とそれに対する返信や、さらに返信に対する返信で一つのスレッドが形成されます。スレッドは、図のようなツリー表示と一覧表示を切り替えることができます。

掲示板以外に類似したツールとして、ブログ、日誌があります。ブログは、掲示板のスレッドの個々の投稿に対して返信ができず、ブログのエントリに対してコメントをつけていきます。日誌は、個々の学生と教員間で一对一のコミュニケーションに利用します。

【井上 准教授(教材開発センター協力教員)】



知っていますか？ 電子教材の著作権

Q 大学は教育機関なので事前の許諾なしに他人の著作物を利用できるのでは？

A オンデマンド送信の場合は該当しません。教室内で配布の場合も無制限ではありません。

大学の授業で他人の著作物を事前許諾なしに利用できるのは、著作権法第35条「学校その他の教育機関における複製等」という例外規定を適用しているからです。しかし、同条第二項には「当該授業を同時に受ける者に対して公衆送信を行うことができる」と明記されているため、いわゆるオンデマンド送信には、この例外規定を適用することはできません。

従って、他人の著作物を含む電子教材をオンデマンド送信するには、事前に許諾を取得するか、あるいは事前許諾なしに利用できるもう一つの例外規定である著作権法第32条「引用」を適用することになります。引用を適用できる条件や、事前許諾を必要とする転載との区別については以下のウェブサイトを参照してください。

JMPA 日本医書出版協会 引用と転載
http://www.medbooks.or.jp/forauthor/quot.php

【吉田 素文教授(教材開発センター協力教員)】

これからの講習会開催予定

電子教材著作権

筑紫	8月19日 10:30~12:00	総合研究棟 (C-CUBE) 2F eラーニング室
大橋	9月9日 10:30~12:00	情報基盤研究開発センター大橋分室 第3実習室
箱崎	10月	日時・会場未定

※詳細が決定次第、ICERウェブサイトにてお知らせします。

Web学習システム

2013/9/17	13:30~15:00	箱崎
2013/9/17	17:00~18:30	病院
2013/9/18	13:30~15:00	伊都
2013/9/19	13:00~14:30	大橋
2013/9/19	16:30~18:00	筑紫

Handbook

2013/9/25	13:00~14:30	箱崎
2013/9/25	17:00~18:30	病院
2013/9/26	10:30~12:00	伊都
2013/9/27	10:00~11:30	大橋
2013/9/27	13:30~15:00	筑紫

電子教材開発者向け

～WebGLを用いた3Dコンテンツ開発～

2013/9/24	13:00~14:30	箱崎
2013/9/25	13:00~14:30	伊都
2013/9/26	13:00~14:30	大橋
2013/9/27	14:00~15:30	病院

～iBooks Authorを用いた電子教材開発～

2013/9/24	15:30~17:00	箱崎
2013/9/25	15:30~17:00	伊都
2013/9/26	15:30~17:00	大橋
2013/9/27	16:30~18:00	病院

講習会情報 ▶ http://icer.kyushu-u.ac.jp/seminar_cal

SNSでの情報発信を行っています

このたび教材開発センターでは、広く情報をお届けするために Twitter アカウントと Facebook ページを開設しました。各種講習会や講演会の情報ははじめ、講義動画の更新情報、進行中のプロジェクトやセンターの取り組みなど、教材開発センターの「今」をお届けしていく予定です(開発中の教材の制作過程も?!)。スタッフ一同、みなさまからの「いいね!」やフォローをお待ちしております!

Twitter @ICER_KyushuUniv (https://twitter.com/ICER_KyushuUniv)

Facebook <https://www.facebook.com/KyushuUniversityICER>